

令和3年（2021）6月11日～6月15日

令和3年度（2021）

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和3年度（2021）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

6月11日（金） 10:00 開会			6月14日（月） 10:00 開会			6月15日（火） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	湯浅啓史	3	1	宮本 享	10	1	岸 道三	20
2	玉木 満	4	2	鐘推義憲	11 ～ 12	2	石橋広信	21 ～ 22
3	今岡真治	5	3	保科孝充	13 ～ 14	3	南 浩二	23
4	吉井安見	6	4	今岡久人	15 ～ 16	4	湯浅万里子	24
5	高橋扶治夫	7	5	児玉俊雄	17	5	福田 実	25
6	錦織 稔	8	6	板倉一郎	18	6	本田一勇	26
7	伊藤繁満	9	7	木佐 宏	19			

質問者	18 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 「脱炭素社会の実現」について	
<p>① 今議会に示された市長施政方針には、市政運営のポイントとして「脱炭素社会の実現」が掲げられました</p> <p>ア 以下の文言に対して、市長はどのような受け止めをし、定義しているのか</p> <p> a 「脱炭素社会」</p> <p> b 「カーボンニュートラル」</p> <p> c 「ゼロカーボンシティ」</p> <p>イ 「ゼロカーボンシティ」に挑戦とは、市が行う取り組みとして具体的にどのような事柄を指すのか</p> <p>ウ 「脱炭素のまち出雲」とは、市がどのような状態となると「実現した」と言えるのか</p> <p>エ なぜ、カーボンニュートラルの鍵が水素なのか</p> <p>オ 7月に設立される新電力会社に、出雲市も出資し地域新電力事業に取り組むことは、エネルギーの「地産地消」以外に、「脱炭素社会」や「カーボンニュートラル」に資する取り組みと言えるのか</p> <p>カ 「ゼロカーボンシティ」へ挑戦するための合意形成をどのように図るのか</p>	
(2) 「デジタルファーストの推進」について	
<p>① 今議会に示された市長施政方針には、市政運営のポイントとして「デジタルファーストの推進」が掲げられました</p> <p>ア 「出雲市デジタルファースト推進計画」が策定されたが、計画最終年の令和8年3月末での具体的な市の姿や取り組みの手順が示されていない。今後これらを補って計画に組み入れる考えはあるか</p> <p>イ 将来像である「“デジタル”と“ご縁”で創るスマートシティ出雲」に対する合意形成を今後どのように図るのか</p>	

質問者	10 玉 木 満
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 工科系高等教育機関の立地に対する考え方	
① 将来的な立地を検討されていた工科系高等教育機関について、考えを伺う。	
(2) 連休中の子育て支援について	
① 子どもを預けたい時の支援について伺う。 ア 一時的に子どもを預けたい時の支援策及び利用までの流れ イ 子育て支援策の周知方法 ウ 連休など、閉庁・閉所日が続く場合は受付・相談窓口が必要ではないか	
(3) 朝陽小学校開校後の状況について	
① 学校新設での統合となった、朝陽小学校の開校後の状況について伺う。 ア 子どもたちの様子 イ 開校までの交流事業及び合同学習などの実施経過と評価 ウ 学校新設での統合となった小学校として検証を	

質問者	9 今岡真治
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市新体育館整備運営事業について	
<p>① 出雲市新体育館整備運営事業について、落札者が決定し公表されました。コロナ禍の中でも、多くの市民に親しまれる体育館とするためには、市民の納得と合意形成は必要不可欠であると考えます。そこで新体育館の建設について伺います。</p> <p>ア これまでの経過と今後のスケジュール</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症の影響により今後の計画に支障があるのか</p> <p>ウ 出雲市新体育館整備運営事業者選定委員会からの審査講評が公表されているが、市民にとってわかりやすい情報開示はできないか</p> <p>エ P F I 方式の課題と展望について</p>	
(2) 災害時の情報伝達について	
<p>① 総務省は、「災害情報伝達手段の整備等に関する手引き」の中で、災害情報伝達手段について、情報の受け手、災害の種別、災害の段階、気象条件などによって、効果的な伝達手段が異なること、そして災害時の住民の動きも想定した上で、各情報伝達手段の特徴を考慮して複数の手段を有機的に組み合わせ、災害に強い総合的な情報伝達システムを構築することが望ましいとしています。そこで災害時の情報伝達などについて伺う。</p> <p>ア 情報伝達手段の確保に対する考え</p> <p>イ 防災行政無線戸別受信機の設置率の目標値および設置率向上への取り組み</p> <p>ウ 情報が届きにくい高齢者世帯などへの情報伝達の方策について</p>	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナワクチン接種の安全、迅速な実施について	
<p>① 5月下旬から、出雲市内でも高齢者向けの新型コロナワクチン接種がはじまりました。これほどの大規模接種は初めての取り組みであり、市や医療機関の受付窓口の対応について、市民の方から疑問や不安の声が寄せられています。この市民や現場の声を反映し、6月中旬からの高齢者向け接種の第2弾や、今後行われる64歳以下の市民への接種体制を確立すべきと考えます。</p> <p>ア 窓口や接種会場で浮かび上がった課題と、その課題解決に向けた市の取り組みを伺う。</p> <p>イ 政府が求めている7月末までの高齢者向け接種完了の見通しを伺う。</p>	
(2) 新型コロナ感染拡大を抑止するための、PCR等検査の拡充について	
<p>① 5月は島根県や出雲市でも、ひと月あたりの新規感染者数が過去最多となりました。県外との往来自粛など、生活や仕事の中でも制限があり、文字通り子どもから大人まで影響を受けています。市内の大学や専門学校で学ぶ学生の中には、県外での実習や就職活動に不安を抱く学生も多くいます。コロナ禍で懸命に学ぶ学生へ、出雲市として支援するよう求めます。</p> <p>ア 県内や市内の感染拡大の要因は何だと考えているか、市としての認識を伺う。</p> <p>イ 市内に住む学生が、就職活動などで県外へ出た際のPCR等検査の費用を公費で支給するよう求めるが、所見を伺う。</p>	
(3) 新型コロナの影響を受けている業者への支援拡充について	
<p>① コロナ禍が長期化し、飲食業や観光業、宿泊業をはじめ、市内の業者の厳しい経営状況が続いています。感染の収束が見えず、経営の今後を展望することもできません。現在、消費喚起策が県や市でも図られていますが、同時に、中小業者に直接届く支援策が待たれています。</p> <p>ア 現在の市内中小業者の経営状況をどのように受けとめているか、認識を伺う。</p> <p>イ 市内業者の実態を踏まえ、直接届く支援策の拡充を求めるが、所見を伺う。</p> <p>ウ 「月次支援金」や検討されている県独自の支援策など、国・県施策の相談・サポートを行う窓口の設置を求めるが、所見を伺う。</p>	
(4) 子ども医療費の中学校卒業までの無料化について	
<p>① 「子どもを、元気でのびのびと育てたい。」子育て世代の切実な願いです。出雲市でも今年4月から、子どもの医療費助成が拡充され、小・中学生の入院が1割に、小学生の通院が1割へと負担が軽減されました。しかし、県内の他の自治体と比べると、依然として遅れている状況にあります。子育て世代の声に答えて、「中学校卒業までの医療費無料化」の実現を求めます。</p> <p>ア 県内の他自治体の無料化の実施状況について伺う。</p> <p>イ 出雲市での医療費無料化拡充にむけた今後の展望を伺う。</p>	

質問者	7 高橋 扶治夫
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市新体育館の建設に伴う周辺部の環境整備について	
<p>① 出雲市新体育館の建設に伴って周辺部の環境整備をしていかなければならないと思いますが、今後どのような対策を取られるかを伺います。</p> <p>ア 島根県立大学出雲キャンパスとの相乗効果が期待されますが、その連携について伺います。</p> <p>イ 一畑電車川跡駅の利用の拡大が予想されますがその対策を伺います。</p> <p>ウ 新体育館のすぐ北側を走る東林木バイパスは雑草が多く、夜は暗い道路だが、その対策を伺います。</p> <p>エ その他、周辺の環境整備として「健康と福祉のエリア」にふさわしい運動公園が近くにあると良いと思いますが、将来展望をお伺いします。</p>	
(2) 市街地周辺の小学校の体育館の現状について	
<p>① 四絡小学校・北陽小学校の体育館について、平成23年度に策定された出雲市学校施設設備・耐震化基本計画に従って整備を進めて頂きたい。四絡小学校は令和3年より、北陽小学校は令和5年より改築されるはずだったのが、ずれ込んでいるのは何故か、又いつになるのかを伺います。</p> <p>ア 現状</p> <p>a 築年数が古い。四絡小学校→築46年、北陽小学校→築44年</p> <p>b 構造耐震指標のI_s値が、四絡小学校0.3、北陽小学校0.26。震度6強以上の地震が来た時には「倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」あるいは「倒壊し、又は崩壊する危険性がある」というレベルの数値のため耐震補強がされている。</p> <p>c 老朽化がかなり進んでいる。校舎の壁のひび割れ（四絡小学校）、隙間から砂ぼこりや雪の吹込みがある、床の傾きがある等（北陽小学校）</p> <p>d 体育館が狭すぎる。四絡小学校と北陽小学校は共に建設された時と比べて児童数が1.5倍位増加している。その為全校児童が体育館に入れず、全校集会や入学式・卒業式がまともにできていない。また体育の授業への影響は大変大きいものがある。現場では悲鳴のような声が上がっている。</p>	

質問者	13 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 避難行動に対する意識啓発の取り組みについて	
<p>① 出雲市防災計画の避難計画に、住民への防災の取り組みを促進する計画があります。命を守る行動こそ何より大切であり、その意識啓発の取り組みは継続的に実施しなければなりません。気象庁は6月～8月の3か月予報で、西日本は平年並みか多いと発表しました。自然災害における水害時の避難行動について伺います。</p> <p>ア 地域での意識啓発の研修や活動の状況</p> <p>イ 自分自身の環境に合ったマイ・タイムライン（防災行動計画）の普及啓発</p>	
(2) 交通弱者の移動手段の確保について	
<p>① 運転免許返納または身体的な理由などにより、移動手段を確保できず買い物や通院など、日常生活に支障をきたす市民は地域にかかわらずこれからますます増加していくと考えられます。交通弱者への支援について伺います。</p> <p>ア 運転免許返納の推移、路線バス等の回数券等の利用状況</p> <p>イ 「ドアツードア」（玄関まで迎えに来て、玄関まで送ってほしい）を望んでおられる方が増えてきていると実感しています。公共交通機関を利用したくてもできない方に対してどのような支援が可能か伺います。</p>	
(3) 新型コロナワクチン接種の打ち手の確保と接種会場の選定について	
<p>① 新型コロナワクチンの供給はファイザー製とモデルナ製合わせて国民の2回分を上回る量が供給される予定です。本市にも順調に供給されるものと思います。打ち手と接種会場の確保をどのようにされるのか。今後さらにワクチン供給が進むことが予想される中で、医師会をはじめどのように連携されるのか伺います。</p> <p>② ワクチンの供給と接種のバランスが重要と思われるが、どのように調整されるのか伺います。</p> <p>③ 厚生労働省はファイザー製薬のワクチンについて16歳以上だったものを12歳以上に接種対象を拡大し、また、他大学に先行して7国立大学を接種会場とし、学生にワクチン接種する方向で調整に入りました。各業界、各企業へ実施意向調査も始めており、接種会場などはさらに広がる可能性があります。供給されたワクチンに対して、接種対象、接種会場を本市独自に設定できるのか伺います。</p>	

質問者	23 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 斐川町南部地域等の工業団地開発計画等について伺います。	
<p>① 日本海側の経済圏をリードしていく圏域として多くのポテンシャルを秘めている当地方は今後多様な形で産業が集積する地域となります。本市においては優良な誘致企業の努力により製造品出荷額等が山陰地方でトップを占めており引き続き堅調な勢いで伸びています。新型コロナ感染症の影響で社会・経済活動が全体的には停滞し環境が大きく変貌しつつありますが、元気・活力・笑顔の市政を推進し宍道湖・中海圏域をリードする中核都市を目指すとしています。県内最大の工業集積団地として発展しつつある斐川町南部地域の開発計画について伺います。</p> <p>ア 斐川インターチェンジ付近は出雲縁結び空港と宍道インターチェンジにも近く又県道斐川上島線の開通後も雲南地方、山陽方面とのアクセスも良くなること等、更に周辺には優良な先端産業が立地していることもあり今後の開発が想定される場所です。斐川町南部地域の企業立地条件は良く多くの問い合わせもあると思いますが状況について伺います。</p> <p>イ 斐川町直江地内で現在進めている新工業団地（開発区域約11ha）の分譲計画は従来の区画とは異なった形と聞いているが中小企業、小規模事業者を想定したものでか、伺います。</p> <p>ウ 県内最大の工業集積団地として異業種交流によって相互のメリットが高まっていること等大きな効果があります。又、製造業を中心としたモノづくりの分野は極めてすそ野が広く多くの下請け、関連企業が必要であり、企業立地の条件にもなりうるものであります。今後の拠点づくりをどのように進めていくのか伺います。</p> <p>エ 斐川中央工業団地東工区の約18haは手つかずの状態ではありますが次期総合振興計画において基本方針を示す時であります。現段階での考え方について伺います。</p> <p>オ 斐川町の人口は3万人に伸びつつあるが県内最大の工業集積団地に資する研究施設等、工業高校、大学の新設が要望されているが所見を伺います。</p> <p>カ 出雲市の工業団地分譲率が約96%台になっています。関連し坂田工業団地では長期にわたりリース契約地等があり早急に本来の形に戻すべきと考えますが所見を伺います。</p>	

質問者	29 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 会場の選定について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市として既に決まっている競技や会場は イ 出雲市として今後誘致を検討している競技や会場は ② 国民スポーツ大会での経済効果について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市に見込まれる経済効果は ③ 競技力向上（選手の強化）等について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市として競技力向上等を図る競技や種目、団体は 	
(2) 地域包括ケアシステムの構築について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市での地域包括ケアシステムについて <ul style="list-style-type: none"> ア どのようなイメージ（内容）なのか イ どこが中心になって進めているのか ② 現在の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ア これまでの地域ケア会議で把握した地域課題 イ 把握した地域課題に対しての解決に向けた取組とは ウ これまでの具体的な成果は ③ 今後の課題や解決に向けた取組とは 	
(3) 簸川南広域農道について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 交通量調査など現在の状況について ② 交通渋滞への対策について 	

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 次期「出雲市総合振興計画（出雲未来図）」の策定について ～持続可能な農業の実現に向けて～	
<p>① 農業は人々の食と命を支えるとともに、環境や人間教育にも関わる等、多面的な機能を有する、とても重要なかけがえのない産業です。また、国連が提起した「SDGs（持続可能な開発目標）」に掲げられた17個の目標において農業に関連する項目は多く、世界的にも農業は重要なポジションに置かれています。</p> <p>さて今年度は、出雲市総合振興計画「出雲未来図」の最終年度であり、これまで10年間の取組実績の検証、その結果に基づいた次期計画の策定を確実に実施すべき重要な年度です。その中でも、特に農業は出雲市においては基幹産業であることから、今後も持続可能な農業の実現に向けた取組みは必須であると考えます。</p> <p>そこで、次期出雲市総合振興計画の策定にあたり、農業振興についてどのような基本方針で臨まれるのか、次の内容について伺います。</p> <p>ア 出雲未来図の後期および全期間における農業に関する取組結果について、どのように評価されているのか。</p> <p>イ 次年度からの次期総合振興計画は、どのようなロードマップ（スケジュール等）で進める予定なのか。</p> <p>ウ これまでの取組みと現状を踏まえ、次期総合振興計画において農業政策をどのような方針で設定する考えなのか。</p> <p>エ 取組結果の評価にあたっては、今後はこれまで以上に細部にわたり農業に関する具体的な目標設定が必要であると考え、要望するが如何か。</p> <p>オ 人口の二極分化を踏まえ、中山間地および市街地の農業問題等の解決に向けてどのように取り組んでいく考えなのか。</p> <p>a 中山間地対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業、農地維持のための担い手の確保について 若い担い手の確保・育成と支援 ・地域コミュニティの維持について ・自治振興課内に新設される「中山間地域振興室」について どのような部署で、中山間地の農業にどのように関わりを持つのか。 ・鳥獣害対策について 予算の拡充 ・耕作放棄地の解消について <p>b 市街地対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地と宅地等との共存について 宅地化が進み、農地は減少するとともに散在している現状にある。 ・農業、農地維持のための担い手の確保について <p>c 中山間地域と市街地域との交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業に対する市民意識の醸成、観光農園 等 	

(2) 「出雲のお店応援プレミアム付商品券発行事業」について

- ① 「出雲のお店応援プレミアム付商品券発行事業」は、市民の消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症拡大により多大な影響を受けている市内中小企業等の売上回復を支援するうえで、有効な施策であると考えます。ただし、この事業においては、登録店申請できる中小事業者等は指定店要件を満たすことが前提となっていることから、事業者の中には、売上が低下しているにもかかわらず、この要件に合致しないために指定店登録を受けることができないというケースが発生しています。そのため、利用者において商品券を利用できない店があるため不便を感じられるとともに、当該事業者においてもその対応に苦慮されている状況にあるようです。

そこで、利用者の利便性を高め、ひいては地域経済の活性化を図っていくという観点から、『新型コロナウイルス感染予防に取り組んでいる出雲の中小企業を応援』という趣旨のもとで指定店要件の緩和を行い、さらに多くの事業者等へ指定店の登録を広げていくことが必要であると考え、次の通り伺います。

- ア 指定店登録を受けることができない事業者の数や割合は把握されているのか。
- イ 同様の事業を実施している他の自治体では、どのような取扱いがされているのか。
- ウ 指定店要件に合致しない事業者からの問合せや当該要件撤廃の要望はないのか。
- エ 今後、同様の事業を実施する際に、見直しを検討する考えはあるのか。

質問者	24 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 新川元滑走路の跡地利用について	
<p>① 令和3年1月、斐川町出西にある財務省所有地「新川元滑走路跡地」が出雲市に本社のある「株式会社アリオン」に売却されました。長年地元で組織され返還運動を続けていた「新川元滑走路周辺対策協議会」では、公共用地として活用されないことに不満はあるものの、地元で縁のある会社が取得したということで、大きな安心感を覚えています。</p> <p>市当局あるいは松江財務事務所との様々なやり取りがありましたが、平成29年8月・協議会から市への要望に対して、当時の長岡市長（総合政策部）から次のような回答を頂いています。主旨を述べます。</p> <p>「出雲市は、利用計画を持ち合わせていない現状から、用地を取得する考えはございません。なお、市としても当該用地が適切に活用されることを願っており、実際に売却された際には、法令に沿いできる限りの対応をしていきたいと考えております」とあります。</p> <p>ア 約27,000㎡の広大で優良な土地の利用について、出雲市と事業者両者が協力することにより、市にとっても、より有効な活用につながると言えますが、考えを伺います。</p> <p>a 回答文の中で、「できる限りの対応をしたい」とは具体的にどのような例が考えられるか。</p> <p>b 今議会の補正で測量設計費が計上された南側の約10メートル幅の道路部分、斐川2268号線及び斐川2394号線について今後どのような計画で進められるか。この道路に続く東側の都市計画道路予定地についてはどのような計画か。</p> <p>c 終戦間際、滑走路を整備するにあたって、地元住民の多くが突貫工事に動員された歴史、あるいはごく最近になって戦争遺跡を残そうという団体が、新川元滑走路を残して頂きたいという要望がある。一連の流れをどのように受け止めているか。また今後どのように対応していくのか。</p>	
(2) 通学路の交通安全対策・横断歩道等について	
<p>① 市内を見回ってみますと、児童生徒の通学路の交通安全対策上必要不可欠である横断歩道の表示線が消えていたり、必要と思う場所に表示がない箇所があります。新設、定期的な補修点検について伺います。</p> <p>ア 横断歩道について</p> <p>a 新設できる条件を伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い路線で、小中学生が多く通学する箇所の新設 ・自治会に加入されていない団地はどこへ要望すればいいか。 <p>b 補修について</p> <p>通学路でも消えそうな箇所が多くあるが、どの程度古くなれば補修できるか</p> <p>c 横断中の黄色い旗の現状</p> <p>以前はほとんどの横断歩道に前後2か所設置されていた。要望のある場所に設置できないか</p>	

イ 待避所について

- a 中部小学校東側県道の点滅信号。100人程の通学児童数。雨の日、傘をさした児童が狭い待避所に集まっていた。通学路を少し拡幅すれば広い待避所ができ、安全が保たれると思うがいかがか。

ウ 歩道として利用されている側溝の蓋について(新川中央線)

- a 最近新しく蓋をされた箇所もあるが、所々、ないところもある。車両の多いところだが、基準があるのか。

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) 朱鷺によるまちづくりについて	
<p>① 国において「トキ野生復帰ロードマップ2025」が議論され、佐渡以外の本土で放鳥という前向きな意向が今年2月に示され、国内の複数の地域で群れを形成するという長期目線での目標が新たに盛り込まれました。「山が動きました」</p> <p>出雲市は西日本唯一の分散飼育施設があり、出雲で誕生したヒナがすでに40羽をこえそのヒナたちは佐渡で放鳥されています。</p> <p>国土交通省出雲河川事務所を事務局とした、「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類とともに生きる流域づくり検討会」や、「出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク」等での連携を図りつつ「出雲市トキによるまちづくり推進協議会」が開かれトキの放鳥と言いますか周囲の機運も高まっています。</p> <p>以上のような状況を踏まえ、次の事を質問いたします。</p> <p>ア 今日迄出雲でトキの放鳥という言葉が一般市民はあまり聞きなれておりません。今環境省は本土での放鳥を真剣に議論されだしました。今ではないでしょうか。出雲市は行動を起こす時だと思えます。如何お考えなのかお伺いいたします。</p> <p>イ 放鳥にあたっては数々の問題があります。農地への農薬の使用量、トキの餌となるドジョウなどの確保、ビオトープの整備、これらに伴う農地の確保など、JAや農家との打合せ等環境整備について検討はなされていますか。どのような状態でしょうか、お伺いいたします。</p> <p>ウ 前項目について予算措置は検討されているのでしょうか。</p> <p>エ 市民への啓発活動はどのような活動がなされているのでしょうか。ただパンフレットを置いていただけでは不十分だと思います。小・中学生を対象に環境学習の一環としてトキについて出前授業をやっては如何でしょうか。また市民への効果的な宣伝活動をお考えでしょうか。</p> <p>オ トキ基金があると聞いております。どのような利活用がなされておりますでしょうか。お伺いいたします。</p>	
(2) 国道9号の拡幅について	
<p>① 市長の施政方針の中にもありましたが、山陰道の出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の一日も早い完成に加え、出雲IC附近が名実共に出雲市における西の玄関口となるよう将来展望をお考えになっておられます。</p> <p>山陰道の出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が開通したあかつきには、当然であります9号線は交通量が増えて参ります。</p> <p>市長は9号線について、出雲バイパスの早期4車線化を国に対して強く要望するとおっしゃっています。しかし、都市計画決定されている「神西小学校前交差点から神戸川北側まで」も4車線化を図らねばスムーズな車の流れは作れないと思えます。</p> <p>そこで質問いたします。</p> <p>ア 都市計画決定されている「神西小学校前交差点から神戸川北側まで」の4車線化について国に要請はされないのでしょうか。</p>	

イ 国道9号は、出雲市は勿論山陰の都市の大動脈であります。近隣である松江市・米子市内は4車線で整備されています。わが町出雲市は、都市計画決定からかなりの年月が経過しております。早期の完成に向けて国に対して強い要請をして頂くことを重ねてお願いすることと、国におかれては現在どのようにお考えなのか情報があればお聞かせ下さい。

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 自治協会への支援強化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 自治協会に対する行政運営上の位置づけと現在の支援内容を伺います。 ② 「元気・やる気・地域応援補助金」及び「地域コミュニティづくり支援補助金」の実績と評価を伺います。 ③ 自治協会の体制強化のためには人的支援が必要だと考えるが、所見を伺います。 ④ 自治協会の取り組みとして独り暮らしの高齢者などに対し会費の減免をしているところがあるが、脱退防止策のひとつとして市で補てんできないか、伺います。 ⑤ 自治協会や自治会に対する今後の支援のあり方を伺います。 	
(2) 木質バイオマス発電と森林整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 県内の木質バイオマス発電の動向を伺います。 ② 木質バイオマス発電所に係る国・県及び市の支援内容を伺います。 ③ 「脱炭素のまち出雲」における木質バイオマス発電の位置づけを伺います。 ④ 「みんなでつくる出雲の森事業」の実績と今後の方向性を伺います。 ⑤ 森林整備の促進のためにも木質バイオマス発電所の整備または誘致が必要だと考えますが、所見を伺います。 	

質問者	27 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について	
<p>① 現在、新型コロナウイルスワクチン接種事業の出雲市の状況および、一般の方への接種の準備状況など次の点を伺う。</p> <p>ア 医療従事者および高齢者などの接種事業の進捗状況を伺う。対象者数のうち実施済み人数および終了見込み時期など、問題点などあれば伺う。</p> <p>イ 一般の方への接種事業について次の点を伺う。</p> <p>a 対象者人数および実施方法やスケジュールなどを伺う。</p> <p>b 優先接種についての考えを伺う。12才以上の子どもや大人のうちでも、子どもに関わる仕事に従事する人や不特定多数の方と接触する機会の多い観光業や飲食業・運輸業、学校などを優先接種すべきと考えますが、市の考えを伺う。</p> <p>c 効率的に実施するためには、職場あるいは学校単位での接種も必要と考えるが市の考えを伺う。また、職場および学校で実施する場合は、他市からの通勤者通学者もおり広域的な連携も必要と考えますが、他市との連携をどのように考えているのか伺う。</p> <p>d 医療従事者などで予防接種を受けられた方などから、副反応により倦怠感や発熱などの症状があらわれる方が意外と多いとの話を聞きました。副反応の状況および一般の方の接種に向け、どのような対応を考えているのか伺う。</p>	
(2) 自治会など地域活動の支援について	
<p>① 自治会活動の目的は、近所に住む人たちで自主的に運営され、日頃から親睦と交流を通じて連帯感を深め、気軽に付き合い、日常生活に必要な情報交換や地域の課題をみんなで協力して解決し、ふれあいのある快適なまちづくりを目指し活動していくことです。</p> <p>しかし、住民の高齢化や未加入者の増加などにより、自治会の本来の活動が出来ない状況になろうとしています。そこで、次の点を伺う。</p> <p>ア 加入率の現状および推移について伺う。</p> <p>イ 加入率の低下の原因の一つとして、役員就任の負担感や加入者と未加入者の間の不公平感がある。そのことについて市はどのように把握し対応を考えているのか伺う。</p> <p>ウ 自治会が結成されていない町内においても、災害発生時の避難行動要支援者への支援や、自宅の雨水や場所によっては浄化槽の排水などを流している排水路の掃除などは協力していただく必要があると考えます。その点について市の考えを伺う。</p> <p>エ 現在70才まで働くことが当たり前の時代になろうとしています。この4月にも70才までの就労機会を確保する改正高年齢者雇用安定法が施行されました。そうした中で、自治会をはじめとする地域活動は、役員就任も含め働きながら活動できるものに変わっていかねばならないと考えます。このことについて、市の考えを伺う。</p> <p>オ 併せて、専門家のアドバイスを受けるだけでなく、多くの地域活動に参加している市役所職員で、ワーキングチームを作られ働きながらできる自治会活動・地域活動の在り方について検討されてはどうかと考えます。市の考えを伺う。</p>	

質問者	15 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
(1) 平田地域に於ける総合防災対策課題について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 平田地域に於ける防災対策に関して <ul style="list-style-type: none"> ア 国道431号バイパス事業課題について イ 伊野地域の災害避難道路事業課題について ウ 一畑電車旅伏駅踏切りと周辺市道改良について エ 西代町と国富下地域住民の避難場所確保について ② 市民不在の不燃物持ち込み回収エリアの不合理的について ③ 元平田市太田市長発案の田舎流デイサービス事業の復活について 	

質問者	17 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 道路冠水や浸水する地域への対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 道路冠水や浸水する地域の状況 ② 河川改修の進ちょく状況 ③ 改善策の実例 ④ 地域とともに解決策を見出していくことの必要性 	
(2) J R 木次線への支援について	
<ul style="list-style-type: none"> ① トロッコ列車「奥出雲おろち号」運行継続に向けた出雲市としての思い ② 現在の J R 木次線の維持・存続に向けた状況 ③ 「出雲の國・斐伊川サミット」における J R 木次線支援の現状 ④ 出雲市として可能な支援策 	

質問者	5 石橋 広 信
質問事項・質問内容	
(1) コロナ禍におけるアフターコロナを見据えた販路拡大戦略	
<p>① 現在の出雲市を支える産業の現状はどのような状況なのか 建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業 等々</p> <p>ア コロナ禍とそれ以前の比較</p> <p>イ この状況に対して今まで行政はどのような支援をされてきたのか</p> <p>ウ その結果どうだったか</p> <p>② コロナ禍で外へ打って出れない現状の中で市長を中心としたオンラインによる「縁結び大商談会 by 出雲」を実施してはどうか</p> <p>ア 市長のトップセールスで商談相手に対して出雲市の本気度をPRしていただきたい</p> <p>イ おいしい出雲の活用の中と販促資料の作成の協力</p> <p>ウ 事前の商談会勉強会の開催（講師を招く）</p> <p>③ コロナ禍期間中にオンラインによる商談会を数件行い、ワクチン接種が落ち着いた頃に国内の移動が許される状況になったならば、全国的（海外を含む）な展開にて開催される対面式の大商談会・大展示会に出展してはどうか。</p> <p>ア 出雲市ブースとして出展（市長はじめ関係者も参加）</p> <p>イ 出雲大好きバイヤーづくりに向けた出雲視察のための招待券を贈る</p> <p>ウ 各企業の報告会の開催</p> <p>エ 県外企業の誘致等</p>	
(2) 出雲市を代表する食のブランドに関する質問	
<p>① 出雲市を全国に、そして世界にアピールしていくのに出雲市の「ブランド」というものが求められると思うが、今現在どのようなものがあるか。</p> <p>ア そもそも出雲ブランドの定義は</p> <p>イ 出雲ブランドのアイテム</p> <p>ウ そのブランドに対しての出雲市としての取組</p> <p>② 新たに出雲ブランドを作っていく、若しくは育てていくことへの予定があれば伺う。</p> <p>ア あればどのようなものなのか</p> <p>イ どのような取り組みをするのか</p> <p>③ 私の知り合いより、かつて神西湖の蜆が、全国系のテレビで良質であることが放映されたようですが、これを出雲市としてどのように活かすか。</p> <p>ア 神西湖の現状は</p> <p>イ 何か取り組みがあれば伺う</p>	

- ④ 食のブランドの広め方について、良いものがあってもそれが相手に伝わらなければ広がっていくことは出来ません。
- 出雲市在住のユーチューバー（出雲市観光大使）がいます。
出雲市に対して熱い思いを持っています。
幅広い年齢層の方々にPRしていくのにSNSは大いに役に立つと思います。
- ア 行政のPR方法への各企業の期待
イ ユーチューブによるPR作戦に対する考えは
ウ 若い世代の活躍の場の提供をする考えは

質問者	2 南 浩 二
質問事項・質問内容	
(1) 市長が思う出雲市の強みと弱みについて	
<p>① 出雲市が4月に発表した統計データ「統計でみる出雲2020」などのデータを踏まえつつ、産業分野だけに限らず福祉や教育・文化など含めて、市長がこれまで思っていた出雲市の強みと弱みを具体的な事例があればご紹介いただいてご答弁願います。</p> <p>また、強みに対して、市長として今後どのように伸ばしていき、また弱みに対してはどのように改善していきたいと考えておられるかもあわせて伺います。</p>	
(2) 新規就農者の確保、育成について	
<p>① 新規就農者の自立をより支援していくために、認定新規就農経験者の知見や経験を、認定新規就農者を目指す新規就農者が事業計画を作成する段階から活かしてはどうかと考えますが市長の見解を伺います。</p>	
(3) 子育て世代への支援について	
<p>① 子育て支援について、市長が将来的にどこまでの支援を目指していきたいと考えておられるのか現時点の見解を伺います。</p>	

質問者	4 湯 浅 万里子
質問事項・質問内容	
(1) 共生の心を育む農業	
<p>① 農福連携事業について</p> <p>ア 国・県から具体的な方法は提示されているでしょうか。</p> <p>イ 福祉サービスでの気配りの上、農業を教え伝える。そして見守る方々の人数も必要となります。</p> <p> a 人材不足でサポートする方が集まって下さるのか。その方法を伺います。</p> <p> b 「太陽の里」のノウフク・アワード2020での優秀賞受賞内容を教えて下さい。</p> <p>② 灘分地区の国営緊急農地再編整備事業について</p> <p>ア 農地の完成を見据え、農業の今後をどう描いているのか伺います。</p>	
(2) 人口減少とまちづくりについて	
<p>① 人口減少に歯止めをかける地域バランスのとれたまちづくりについてお伺いします。</p> <p>② 自分が所有する農地に新たに家を建築する時、農地の為にすぐには転用できないと言われる。農地転用の制度について、どのように考えておられるか、お伺いします。</p>	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 災害発生時に行政からの迅速な避難指示について	
<p>① 今回の改正で「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化されました。</p> <p>ア 今回、改正された内容を詳しくお聞きしたい。（ハザードマップの変更内容も含めて）</p> <p>イ 避難行動要支援者名簿の変更が、各地区災害対策本部に送られてくるが新しく登録された方の情報提供が遅く個別避難計画書作成にいかされていないと思いますがいかがお考えでしょうか。</p> <p>ウ 今後、災害発生のおそれが高い地域にどのような段階（タイミング）で的確に、迅速に避難指示を出されるかお伺いしたい。</p>	
(2) 学校再編後の校舎、体育館の利活用促進について	
<p>① 5月21日の新聞報道で日御碕小学校校舎はサテライトオフィスとして活用すると発表がありました</p> <p>ア 現在の空き校舎の状況、今後の利活用予定は</p> <p>イ 立地の悪い所は利活用が難しいのでは</p> <p>ウ 草刈り等の校庭管理は今後どのようにお考えか</p>	

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 「脱炭素のまち出雲」について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 小水力発電について考えているか伺います。 ② どんな所が小水力発電に適しているか、伺います。 ③ 佐田町にも多伎町にも候補地は沢山あると思うが、今後調査を考えているか伺います。 	
(2) 春の出雲市議会選挙を思う	
<ul style="list-style-type: none"> ① なぜ投票率は低いのか <ul style="list-style-type: none"> ア 春の選挙の年代別の投票率を教えてください。 イ 佐田町・多伎町・湖陵町の投票率を教えてください。 ウ 特に若者を選挙に行かせる対策があれば教えてください。 ② 供託金の30万円はもっと安くないのか。それが無いと、どんなことが予想されるのか伺います。 ③ 女性議員が増えないのはなぜか。女性参画を促す呼びかけをしているか伺います。 ④ 出雲市内502ヶ所のポスター貼りは新人にとっては非常に難しい作業です。もちろん全部に貼らなくてもいいのですが、新人にとっては大変不利です。何か策があれば伺います。 	